

途上

信州大学教育学部附属長野小学校学校だより

文責：教頭



上記イラストは生成 AI で作成

6月、今年度の教育実習が始まり、各学級では中核活動に向けた動きも本格化しています。今回は、6月の校長講話のお話を掲載いたします。

好きから始まるワクワクのたび！（6月9日 校長講話②）

みなさん、おはようございます。姿勢をよくしてくれてありがとう。今日は「すき」からはじまるワクワクのたびというテーマでお話をしたいと思います。

話の前にまずはここ最近の出来事をみなさんと一緒に振り返りたいと思います。まずは何と言っても5月23日に行った運動会ですね。附属長野小学校として初めて5月に行った運動会となりました。

運動会（うんどうかい）が終（お）わりました！



6月5日には、児童会本部作成の「懸命新聞」が全校のみなさんに手渡しで配られ、「みんなが全力になれる運動会」を改めて振り返ることができました。本部役員のみなさん、素敵な取組をしてくれてありがとうございます。

5月27日には、1回目の「あさひのタイム」が行われました。小学校、特別支援学校それぞれの場所で特別支援学校の小学部のみなさんと一緒に探検をしたり、遊んだり、田んぼに行って肥料をまいたり、家作りをしたりと様々な交流、そして共同学習が行われました。

6月2日、3日には、新聞にあさひのタイムの記事が載りましたね。わたしたちの活動が多くの人たちから注目されているのですよ。2回目は6月24日の予定です。次の「あさひのタイム」が待ち遠しいですね。

そして、先週は教育実習が行われました。実習生の先生方と、担任の先生と一緒に楽しくくらし、学ぶことができましたね。次、実習生の先生方と会うのは夏休み明けの8月の終わりになります。お互い元気に会えるように。けがや事故がないように過ごしていきましょうね。

さて、先生、本を読むことが好きなのですが、みなさんは本を読むのが好きですか？（多くの児童が挙手をする）たくさんいますね。ありがとう。図書館にたくさん通っている人もいますね。先生は本屋さんに行くことも好きです。この附属長野小に来てから、本屋さんに行ったときに行く場所が一つ増えました。それは児童図書、子どもの本が売っている場所です。先日、ある本屋さんに行って、いつもの習慣で児童図書コーナーに行った時の話です。そこには、学習マンガが目立つように平積みされていました。学習マンガというと先生も小学生の頃読んだ記憶があるのですが、そのときに読んだ人物というと織田信長、豊臣秀吉、徳川家康など歴史の中で登場してくる人たちでした。そこに置かれていた中で、ある人に目に留まりました。その人の名前は「田尻智（たじりさとし）さん」です。なぜ、先生の目に留まったのかというと「この人誰なの？」と思ったからです。でも表紙をよく見ると「ああなるほど！」と思いました。

田尻智さんは、ポケットモンスターを作った人でした。附属長野小にもポケモン好きな人はたくさんいますよね。30年前、ちょうど附属長野小が善光寺の近くの西長野から、ここ「あさひの」に引っ越しをしたときと重なりますが、ポケモンはゲームソフトとして生まれました。30年たった今でも、これだけみなさんを引き付けるポケモン、その生みの親である田尻智さんはどんな人なのか「知りたい！」と思ったので、買って読んでみることにしました。すると、小学生時代の田尻智さんの行動力に大変感心してしまいました。

智君は昆虫が大好きな少年でした。智君は昆虫の中でもノコギリクワガタのオスが大好きで一生懸命捕まえようとしていたようです。そんなときに、噂で夜のお墓にノコギリクワガタがいる

ということ聞き、まだお日様が顔を出さない朝方にお墓に行ってみたのだそうです。ですが、結局ノコギリクワガタは捕まえられなかったそうです。

その後、智君はどうしたかというと、夜の墓場に行かないで捕まえる方法はないかを図鑑や本、新聞などで調べ始めました。調べた後に考えついたのは、昆虫は夜行性で昼間は枯れ葉や土の中にもぐって休んでいるという性質をいかして木の根元に石を置くことでした。その結果、昼間に置いた石をどけてみると、休んでいるノコギリクワガタを見つけることができ、見事、昼間にたくさん捕まえることができるようになったそうです。

誰よりも虫を捕まえることができるようになった智君は、捕まえるだけではなく、どうすればクワガタを長生きさせられるかを考え始めました。智君は、まずコクワガタで実験を始めました。家の中で一番温度が安定している場所（トイレのようです）に水槽を置き、水槽の底には土をふかふかにする腐葉土という土と、餌として腐りにくいリンゴを置いたところ、見事に冬を越すことに成功させたのでした。

この後も智君はザリガニやカエル、オタマジャクシなども捕まえて飼う中で「なぜだろう」「知りたい」と思うと、調べて試してを、繰り返したそうです。この後中学生になった智君はゲームに出合い、ゲームをつくることにのめりこんでいくことになります。そして大人になってポケモンを生み出していったのです。



この智君の小学校時代の虫取りの体験は、ポケモンをゲットすることにつながっているのではないかと思います。みなさんはどう思いますか。ちなみにポケモンの主人公の名前は？そうです「サトシ」ですね。もうお分かりですね。この「サトシ」の名前は田尻智さんの「智」が由来なのだそうですよ。

私たち、附属長野小では、智君のように虫をはじめ、生き物を捕まえること、飼うことが好きな人がたくさんいますね。教室の中や外にたくさん水槽が置かれて様々な生き物を飼っているクラスもあります。また、生き物以外にも、素敵な人がいますよ。4年生のSさんは折り紙が得意で、何度も、何度も折ることですぐに動き出しそうな「ドラゴン」や「サメ」をつくって、見せてくれました。今、この「ドラゴン」と「サメ」は校長室「たくじしよ」の守り神として飾ってあります。このように虫取りでも折り紙でも、何でもよいのです。自分の「好き」をつきつめていてほしいなあ、「好き」から始まるワクワクの旅に出発してほしいなあと校長先生は思っています。

さらに校長先生は、みなさんのそれぞれの「好き」が集まって、クラスを中心になる活動「中核活動」につながっていくと最高だなと思っています。ぜひ、自分がやってみたいことを言葉で先生や友達に伝えて、どんどんやってみてくださいね。

「好き」からはじまるワクワクの旅は、校長先生の願いの、たくさんの「失敗を恐れずにチャレンジすること」につながるかと思います。そのときに「もっとやさしくなりたい！」という気持ちも大切にしてくださいね。ちなみに自分の「好き」を全校の前で発表したいという人、グループがいましたら校長先生に声をかけてください。発表をする機会をつくりたいと思います。以上で校長先生の話が終わります。今日も静かに聴いてくれてどうもありがとうございます。

日々のくらしから（子ども達の様子）

6月6日（土）、プール開きに向けて、スクールサポート隊の皆様に、プール清掃をしていただきました。汗ばむ陽気でしたが、みなさんと会話しながら、楽しく協力しての作業となりました。おかげさまで、綺麗なプールで水泳学習を始めることができそうです。ありがとうございました。



5月27日（水）には、交流籍のみなさんとの学習「あさひのタイム」、6月1日（月）から5日（金）は教育実習が行われました。運動会を終えて、仲間との学習が加速しています。

全校児童の学校生活の様子をホームページのNEWS&TOPICS「今日のできごと」に掲載しています。月に数回程度の更新になるかもしれませんが、こちらをご覧ください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/naga-sho/>